

東区の検討資料

- 1 歴史
- 2 学級数と児童生徒数の推移
- 3 施設整備の状況
- 4 小規模校と大規模校の小中学校と配置図
- 5 再編案
 - (1) 山の下小学校，竹尾小学校を対象とした再編案
配置図
山の下小学校，竹尾小学校と近隣小学校の児童数の推移
山の下小学校，竹尾小学校の再編案
 - (2) 大形小学校，東山の下小学校，牡丹山小学校の再編案
配置図
大形小学校，東山の下小学校，牡丹山小学校の児童数の推移
再編案

1 歴史

明治34年には沼垂町，松ヶ崎浜村，大形村，石山村があったが，大正3年に沼垂町が，昭和18年に大形村と石山村が，昭和29年に松ヶ崎浜村が新潟市に合併した。

明治後期に新潟鉄工所ができ，車両の製造など開始し，大正，昭和初期にかけて多くの工場が建設され，工業の町として発展した。

2 学級数と児童生徒数の推移

上段：学級 下段：人数 網掛け：適正規模校

中学校	平成15年度	平成21年度	平成27年度	小学校	平成15年度	平成21年度	平成27年度
東新潟	19	18	17	(沼垂)	17	13	15
	703	640	612	(中央区)	478	371	424
				(笹口)	14	12	14
				(中央区)	379	332	402
木戸	20	19	14	649	533	401	
山の下	14	13	14	山の下	12	9	8
	506	470	485		305	220	218
桃山				21	23	21	660
大形	12	12	14	大形	26	29	31
	426	384	496		836	961	1,009
石山	17	16	15	中野山	26	21	19
	633	601	556		884	669	585
江南				17	15	15	489
藤見	15	13	12	東山の下	28	26	28
	506	451	434		916	875	947
木戸	16	16	15	牡丹山	25	25	25
	591	581	538		817	812	853
竹尾				12	12	11	369
東石山	16	16	14	東中野山	19	19	17
	603	577	504		622	535	471
南中野山				19	17	16	538
下山	11	11	11	下山	25	24	21
	380	374	373		802	763	656
合計	120	115	112	合計	250	239	226
8校	4,348	4,078	3,998	12校	7,887	7,431	7,044

3 施設整備の状況（平成17年度以降，適正規模校を除く）

学 校	年 度	内 容
なし		

4 小規模校と大規模校の小中学校と配置図

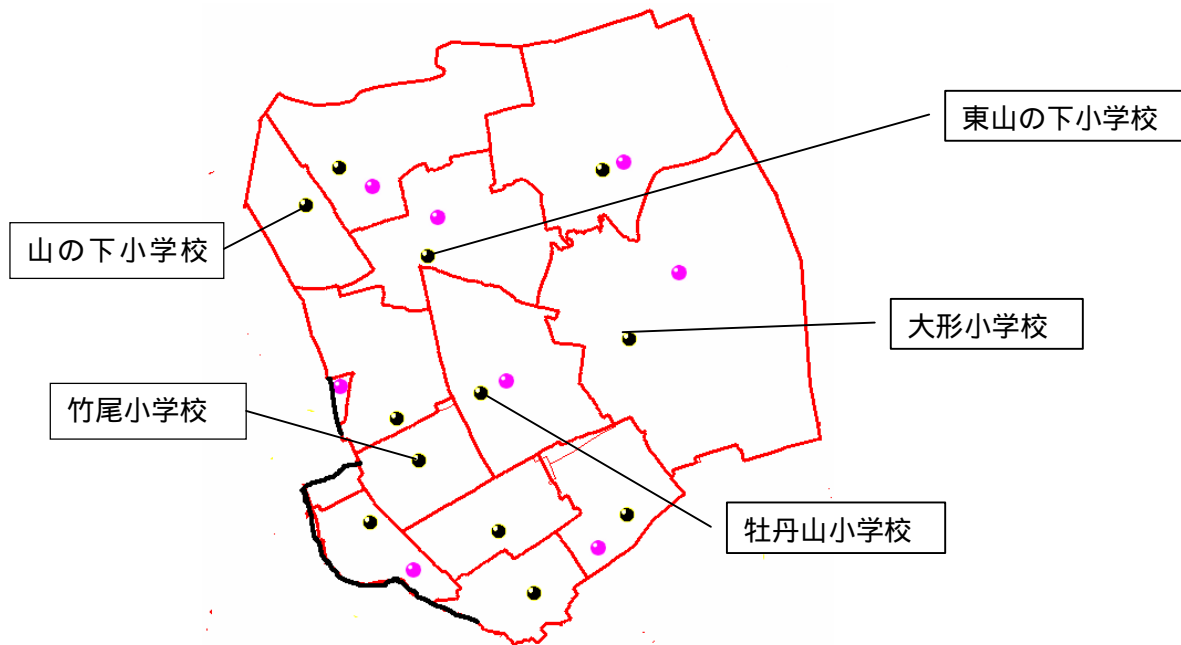
小学校

複式学級	6学級	7～11学級	25～30学級	31学級以上
なし	なし	山の下小学校 竹尾小学校	東山の下小学校 牡丹山小学校	大形小学校

中学校

複式学級	3～5学級	6～8学級	19～30学級	31学級以上
なし	なし	なし	なし	なし

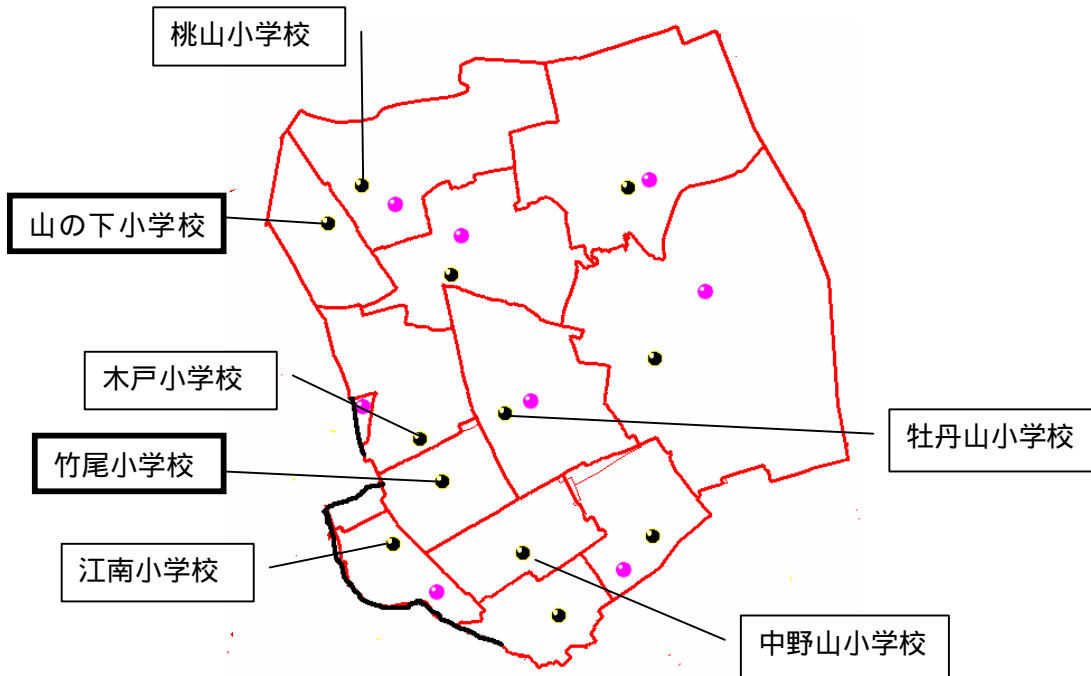
検討対象校学校配置図



5 再編案（平成27年度推計の学級数，児童生徒数による）

(1) 山の下小学校，竹尾小学校を対象とした再編案

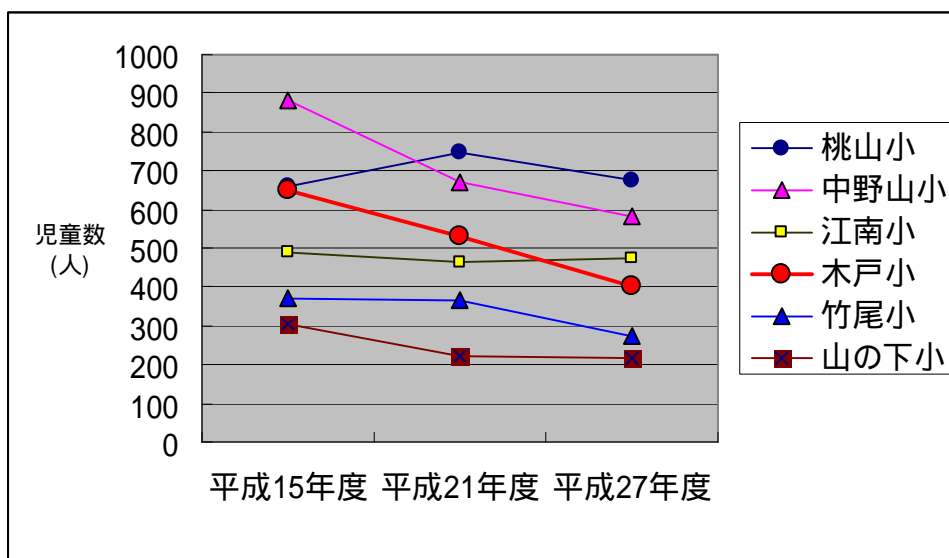
配置図



中学校	小学校
(山の下中学校)	山の下小学校 (桃山小学校)
(石山中学校)	(中野山小学校)(江南小学校)
(木戸中学校)	牡丹山小学校 竹尾小学校

()は適正規模校

山の下小学校，竹尾小学校と近隣小学校の児童数の推移

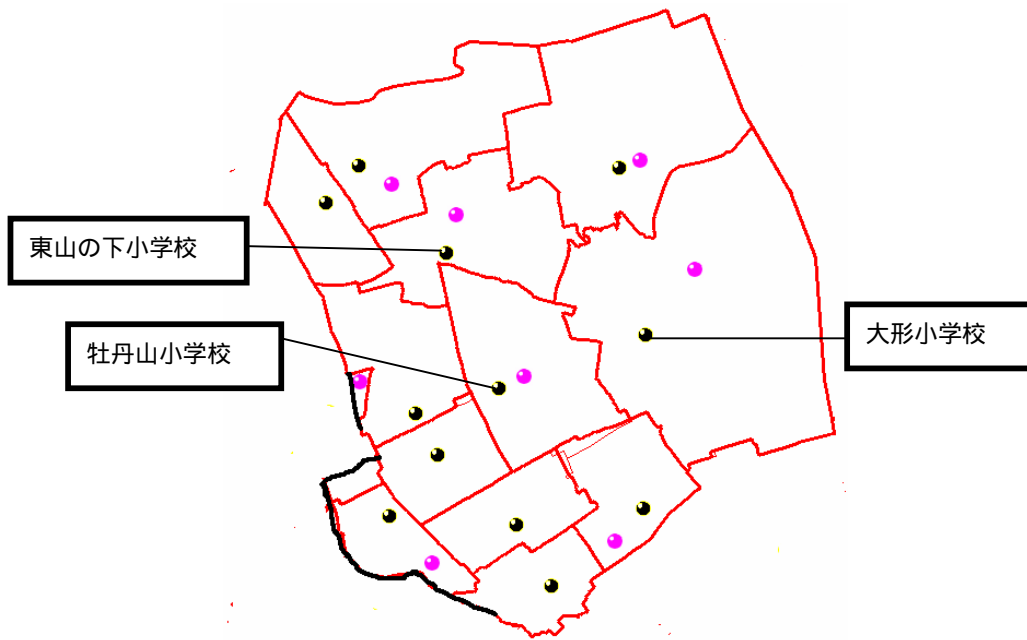


山の下小学校，竹尾小学校の再編案

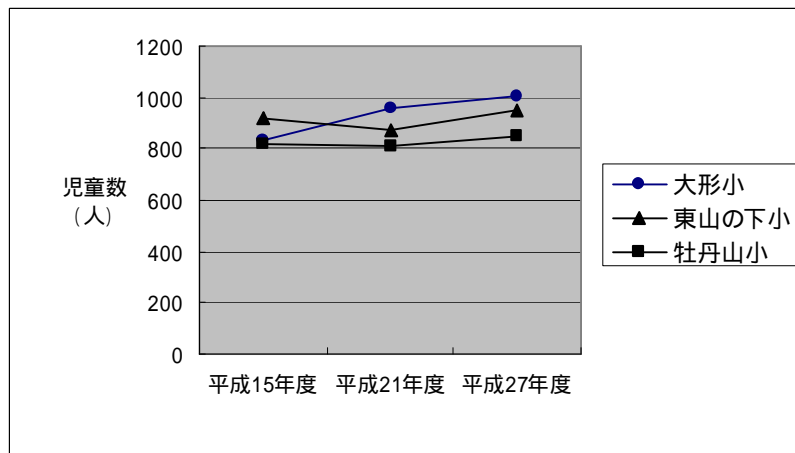
検討校	案	統合の候補校	統合後	中学校
山の下小 8(218)	1	木戸小 14(401)	19 (619)	山の下 ・東新潟
	2	桃山小 21(673)	27 (891)	山の下 ・山の下
竹尾小 11(275)	3	江南小 15(475)	23 (750)	木戸・石山
	4	牡丹山小 25(853)	33 (1,128)	木戸・木戸
	5	中野山小 19(585)	26 (860)	木戸・石山
	6	木戸小 14(401)	22 (676)	木戸 ・東新潟

- 案 1 山の下小学校と木戸小学校との統合で 19 学級の適正規模校となる。
- 案 2 同一中学校区の山の下小学校と桃山小学校との統合では 27 学級の大規模校となる。
- 案 3 竹尾小学校と，江南小学校との統合で 23 学級の適正規模校となる。
- 案 4 同一中学校区の竹尾小学校と牡丹山小学校との統合で 33 学級の大規模校となる。
- 案 5 竹尾小学校と中野山小学校との統合では 26 学級の大規模校となる。
- 案 6 竹尾小学校と竹尾小学校を分離した木戸小学校との統合で 22 学級の適正規模校となる。

(2) 大形小学校，東山の下小学校，牡丹山小学校の再編案
配置図



大形小学校，東山の下小学校，牡丹山小学校の児童数の推移



この3校は隣接しており，いずれも25学級以上の大規模校である。
この地域に1校新設し，3校それぞれの通学区域を分離し，適正化
を図ることが考えられる。

再編案

ア 児童数について

平成 27 年度の状況	3 校の 児童数
大形小学校 31 学級 (1,009 人)	2,809 人
東山の下小学校 28 学級 (947 人)	
牡丹山小学校 25 学級 (853 人)	



1 校新設し 4 校に
する場合
1 校平均約 700 人

イ 課題

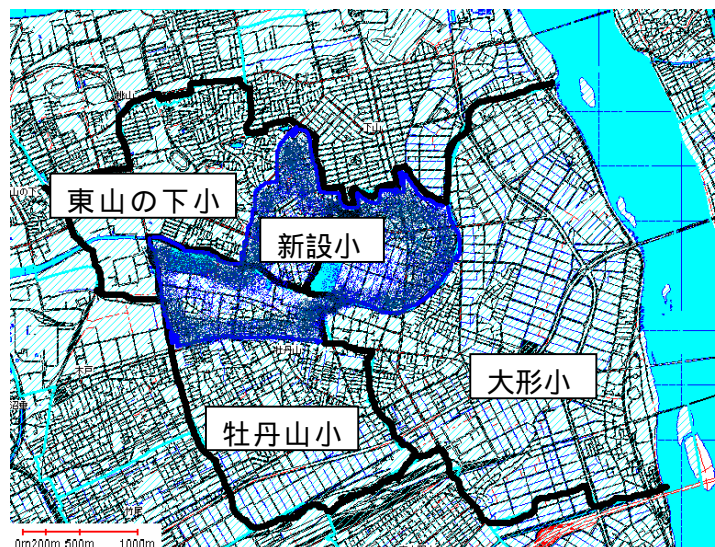
- ・ 今後の児童数の伸び。
- ・ 分離についての地域の総意。
- ・ 新設校の用地確保。
- ・ 進学する中学校区の調整。

ウ 再編例

大形小学校，東山の下小学校，牡丹山小学校 3 校の中心に小学校を
新設する場合を想定

明確な道路・河川で区切る

- ・ 現大形小学校区のうち通船川以北及び通船川以西
- ・ 現東山の下小学校区のうち通船川橋延長道路以東
- ・ 現牡丹山小学校区のうち県道新潟新発田村上線以北



〔現状〕 平成 27 年度の状況	3 校の 児童数	〔再編後〕
大形小学校 31 学級 (1,009 人)	2,809 人	大形小学校 20 学級 (657 人)
東山の下小学校 28 学級 (947 人)		東山の下小学校 23 学級 (705 人)
牡丹山小学校 25 学級 (853 人)		牡丹山小学校 22 学級 (712 人)
		新設小学校 23 学級 (735 人)

新設小学校の中学校区と中学校の学校規模 (平成 27 年度推計)

	現 状	藤見中学校を 校区とする	大形中学校を 校区とする	木戸中学校を 校区とする
藤見中学校	1 2 (4 3 4)	1 8 (6 5 6)	9 (3 2 7)	9 (3 2 7)
大形中学校	1 4 (4 9 6)	9 (3 0 9)	1 7 (6 3 8)	9 (3 0 9)
木戸中学校	1 5 (5 3 8)	1 5 (5 0 3)	1 5 (5 0 3)	2 2 (8 3 2)

藤見中学校を進学先にする場合

- ・ 3 校とも適正規模校であるが、藤見中学校が適正規模の上限に、大形中学校が適正規模の下限になる。

大形中学校を進学先にする場合

- ・ 3 校とも適正規模校になるが藤見中学校が適正規模の下限になる。

木戸中学校を進学先にする場合

- ・ 木戸中学校が大規模校になる。
- ・ 藤見中学校と大形中学校は適正規模の下限になる。